



安全で安心できる 住みよいまちづくりを

置戸町長 井上 久男

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族お揃いでお健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は開町100周年を迎え、未開の地を切り開いてこられた先人の方々に感謝するとともに、夢と希望に満ちた置戸の未来を築いていこうと町民主体の記念行事が数多く行われた年でした。

若者が昼夜を惜しまず企画運営した「オクトグリーン フェスティバル」、小学生が自分たちの発想で絆を深めた「おけと開町100周年まつり」、自然と調和するまちづくりを進める置戸町にふさわしい「さかなクン」を招いた記念講演、先人の知恵と経験を受け継ぎながら、明るい明日を描いた町民構成劇「おけと100年物語～生命のつながり」などこの100年は、町民自らの手で住み良いまちづくりを進めてきた集大成だと改めて実感しました。この先も本町が輝き続けることを皆さまとともに願うものであります。

しかしながら、国に目を向けますと、少子高齢化は止まらず、地方の過疎は進み、活力が失われてきているのが現実です。国は地方の活力を取り戻すべく「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、特色あるまちづくりに支援をはじめました。

現在町では、第5次総合計画の後期計画がスタートしています。

「活力あふれる豊かなまちづくり」として、農業分野での法人化、林業の担い手確保、まちの大切な観光資源である勝山温泉「ゆうゆ」の改修。

「安心して健やかに暮らせるまちづくり」として、高齢者住宅改修補助や置戸赤十字病院への支援による地域医療の充実、子ども・子育て支援の推進。

「自然豊かな住みよいまちづくり」として、橋梁の長寿命化の継続、交通・防犯対策、地域との連携を深めた実効性ある防災計画の推進。

「ふるさとを愛する人と心を育むまちづくり」として、町民だれもが健康であり続けるためのスポーツ活動への支援。

「心ふれあう協働のまちづくり」として、情報発信の充実や公共施設の計画的な維持管理など、一つひとつ確実に計画を進めております。

さらに、多くの方々にご意見をいただきながら、総合計画を基本に「観光農業」・「都市圏からの移住促進」・「子育て環境の整備」・「福祉医療やコミュニティ活動の強化」を新たに加えた「置戸版総合戦略」を作成し、101年目を迎えた本町の頑張りを示していこうと考えております。

進む道は決して平坦ではありませんが、先達者の精神を忘れずに、町民の皆さまと力強くしっかりと歩んでいこうと思います。

結びになりますが、本年が輝ける未来に繋がる飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。